

(有) 静岡健康企画	ことぶき薬局	TEL 0559(77)6024	FAX 0559(77)0890
	たまち薬局	054(251)1678	054(251)1685
	ひまわり薬局	053(463)4312	053(460)4612

## 老人の薬剤負担、スタート

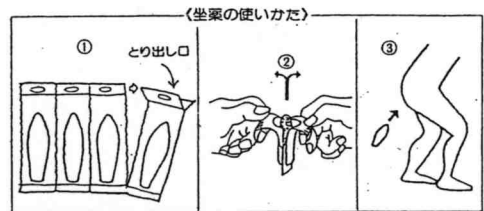
今月から健康保険法の改正により、老人の薬代の負担金が発生しています。わからないことがありましたら、気軽におたずねください。

## くすりの使い方 **坐薬**

坐薬は、患部に直接作用したり、薬の吸収を早くしたり、胃腸障害を少なくするためにつくられた剤形です。肛門に入れると体温で溶け、直腸の粘膜からすみやかに吸収されるため、解熱、鎮痛、便秘、痔等に多く使われます。

### 使い方

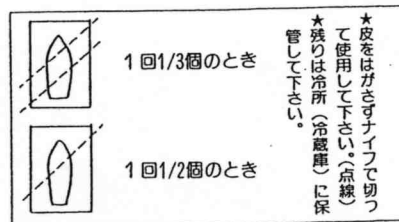
- ① 切れ目の部分から切りはなします。
- ② 取り出し口から左右に引きはなします。
- ③ 先の細いほうから肛門に入れます。しゃがんだ状態で2/3位挿入し、そのまま立ち上がるとうまく入ります。



小児の場合

### 注意

- \* 小児の場合は図のようにして入れます。
- \* 坐薬が入りにくい時は、先を水でぬらしたり、腹圧がかからないように横になって挿入するとよいでしょう。
- \* 排便前に使うと、一緒に出たり、吸収が悪くなりますので排便後に使用してください。
- \* 口からは絶対に飲まないで下さい。
- \* 1回に1/2コあるいは1/3コ使う時には、図のように切ると使いやすくなります。



## 病気のはなし

## インフルエンザ

インフルエンザは冬から春にかけて毎年必ず流行し、幼児や高齢者などでは、インフルエンザが引き金となって死に至ることが少なくありません。

そのため、インフルエンザに対する予防・治療が早期の段階で重要となってきます。

### インフルエンザとは、

突然の発熱（39～40度）で始まり、鼻汁、咽頭痛、筋肉痛、関節痛、頭痛などを伴います。健康な成人がインフルエンザにかかった場合、通常1週間程度でこれらの症状は消えます。しかし高齢者を中心に、肺炎や気管支炎などの合併症にかかる率が高く、それらの合併症により死に至ることもあります。

### インフルエンザにかからないためには、

- \* 人ごみをなるべく避け、外出時マスクをする。マスクをすることにより、ウイルスの吸入を最小限に抑えます。
- \* 手洗い・うがいをする。石鹸で洗う事でウイルスは死滅します。
- \* 予防接種を受ける。
- \* バランスのとれた食事、また部屋の湿度を保つようにこころがける。

### インフルエンザにかかってしまったら、

- \* 早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。
- \* 安静にして十分な睡眠・休養をとってください。
- \* 水分の補給をしっかりとしましょう。



インフルエンザ脳炎・脳症（けいれん、意識障害等）の患者に、熱を下げる目的としてジクロフェナクナトリウム製剤（ボルタレン錠、坐剤）を使用した場合、その症状の悪化に関与している可能性があります。但し、インフルエンザ脳炎・脳症の発症には関係ありません。インフルエンザの症状がみられたら、自己判断でくすりを飲まずに、早めに医療機関を受診してください。

